

チーム名	チャーリーと自転車工場	大学・学部	明治大学 政治経済学科	関東RiverCycRing ステージ
プラン名称	常総回帰の道			
リーダー名	奥田駿太郎	テーマ	RiverCycRingで「観光まちづくり」	本選出場 鬼怒川・小貝川 かわまちづくり賞
指導教職員名	奥山雅之			
メンバー名	梅田恵子 重田真希 高沢朋代 増子遼平 三船海斗			

1.問題定義

- ・鬼怒川＝茨城というイメージが薄い
- ・ハード先行でソフト面の整備がまだ
- ・市内の生産年齢人口の減少が進行

2.フィールドワークを通して

- ・快適で長距離移動が楽
- ・常総市の中心を貫く鬼怒川堤防サイクリングロードのおかげで縦の移動がしやすい
- ・魅力的な飲食店、風景



3.プラン概要と解決策

<地域外へのPR戦略>

- ・新しいサイクリングロードを1度走りに来てもらい、その快適さを体感して**「茨城だって鬼怒川」**をPR
 - ・ソフト面の強化による街中への誘導
- ターゲット:
サイクリストから初心者まで幅広く

<地域内への愛着増大戦略>

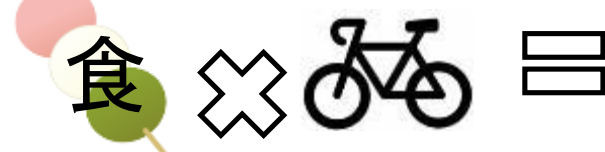
- ・地域の若者が地域に愛着を持てるような**「思い出の場所」**をサイクリングロードとともに創ることで地域の生産年齢人口の流出を抑制
- ターゲット: 地元の学生

常総回帰の道 ～喧噪忘れて常総 走るサイクリング ロードは最高～

4.プラン内容

<地域外>

☑補給食でロングライド



嬉しい

案内マップ作成!

☑泥んこ自転車



楽しい

イベント開催!

<地域内>

☑思い出の通学路計画



愛しい

空間の提供!

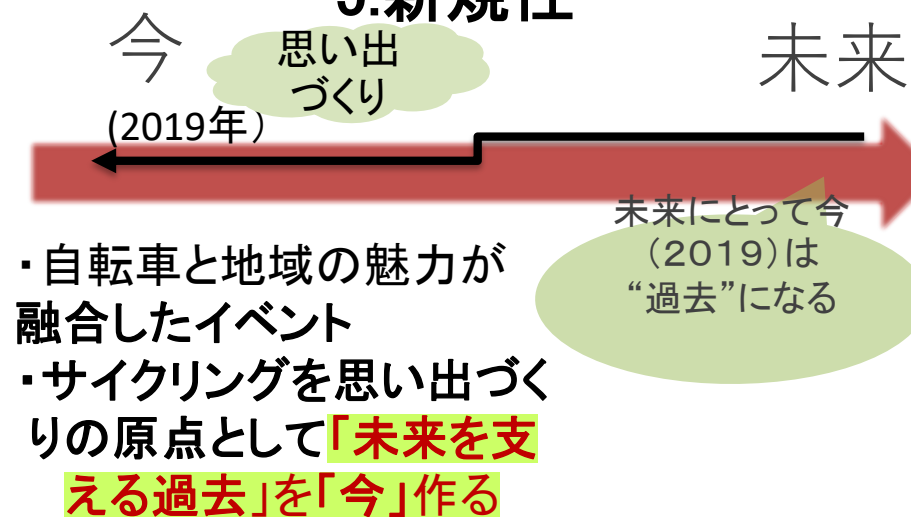


* PR方法 *

- ・ウェブの観光記事
- ・パンフレットの設置
- ・インスタグラム等SNS



5.新規性



6.将来展望

常総市は鬼怒川サイクリングロードの**「発信地」**になる

サイクリングロードの開通とともに**隣接市町村等との連携**を深め地域全体を相互的に活性化していく

7.実現効果

- ・市内入込観光客数の増加 ⇒ 県内ランキングUPへ
- ・消費額の増加
- ・他イベントの集客への**相乗効果** ⇒ 地域全体の活性化
- ・生産年齢人口割合の**拡大** ⇒ 県内・全国平均の水準へ